

Local Updater サービス マニュアル

このマニュアルでは Local Updater サービス(以下、本ソフトウェア)の導入から運用方法までを説明しています。本ソフトウェアを正しくご利用いただくために、使用開始前に、必ずこのマニュアルを必ずお読みください。

目次

1 ソフトウェア使用許諾契約書.....3

2 Local Updater サービスについて.....6

3 ソフトウェア仕様7

4 インストールから運用までの概要7

5 インストール方法8

6 各種設定方法 12

7 アンインストール方法..... 13

8 ワクチン USB3 設定方法..... 14

9 定義ファイルのダウンロードに失敗する場合 15

10 Q&A..... 15

1 ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「お客様」とします）とハギワラソリューションズ株式会社（以下「弊社」とします）との間で弊社がお客様へ提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）の使用権許諾に関して次のように条件を定めます。

弊社は、お客様に対して、以下の条件に従って許諾ソフトウェアの使用を許諾いたします。お客様は、本契約書の内容をしっかりと読みになり、本契約書の内容に同意できる場合に限り、お客様の責任で許諾ソフトウェアを使用してください。許諾ソフトウェアを使用することによって、お客様は本契約の各条項に同意したものとみなされます。本契約の各条項に同意されない場合、弊社はお客様に対し、許諾ソフトウェアのご使用を許諾できません。

第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は弊社に帰属し、お客様に移転いたしません。

第2条（使用権）

1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、お客様が取得または購入された許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器上において、許諾ソフトウェアをお客様の機器等に対して使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写、並びに、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、弊社又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
3. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. お客様は、本契約に基づいて、許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを、譲受人が本契約の条項に同意することを条件に譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、電子文書及び本契約書を含みます）を譲渡しなければなりません。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社または、本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認めた原権利者（以下原権利者として）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（責任の範囲）

1. 弊社及び原権利者は、第6条2項に定義するアップデートデータが正常にインストールできることを保証いたしません。また、弊社及び原権利者は、当該アップデートデータのインストールによってお客様に損害が発生しないことを保証いたしません。
2. 弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。また、弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。
3. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス（第三者が提供する場合に限られず、弊社又は原権利者が提供する場合も含みます）は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来に亘って正常に稼動することを保証いたしません。
4. お客様に対する弊社及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害が弊社又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実に生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明することのできる許諾ソフトウェアの購入代金を上限とします。
5. 弊社又は原権利者は、債務不履行及び不法行為等の理由の如何にかかわらず、如何なる場合においても、お客様に生じた逸失利益、結果的損害、間接損害、若しくは、データ消失及び破損における損害については、一切賠償する責を負わないものとする。
6. 弊社は、弊社ウェブページにて定めるお問い合わせ窓口（許諾ソフトウェア購入ページからリンクしてご確認ください。）に限り、お客様が弊社から使用許諾を受けた許諾ソフトウェアに関する技術的サポートを提供します。但し、弊社は、お客様の同意を得ることなく、当該窓口の受付時間及び当該サポートの提供の有無について随時変更することができるものとします。なお、弊社は、お客様との間で、別途契約を締結しないかぎり、当該サポートをお客様に提供及び継続する義務を一切負うことはありません。

第6条（著作権保護及び自動アップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約に従うものとします。
2. お客様は、弊社又は弊社の指定する第三者がウェブ上に、許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜にアップデートデータ（以下「アップデートデータ」とします）を公開する場合は、アップデートデータ公開後 90 日以内に許諾ソフトウェアをアップデートしなければなりません。また、お客様は、アップデートデータ公開後 90 日を経過した場合は、旧許諾ソフトウェアを、アップデートをする目的以外で使用することができません。お客様は、(i)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び(ii)アップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約が適用されることに同意するものとします。

第7条（契約の解約）

1. 弊社は、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。
2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、弊社に対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書を弊社に差し入れるものとします。
3. 本条 1 項の規定により本契約が終了した場合といえども、第 4 条、第 5 条、第 7 条第 2 項及び第 3 項並びに第 8 条第 1 項及び第 3 項乃至第 5 項の規定は有効に存続するものとします。

第8条（その他）

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを国外に持ち出して使用する場合、適用ある条例、法律、輸出管理規制、命令に従うものとします。
3. 本契約に関連する一切の紛争については、弊社本店所在地の地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及び弊社は誠意をもって協議し、解決するものとします。

2 Local Updater サービスについて

Local Updater サービスは、インターネットに接続されていないPCでワクチンUSB3の定義ファイル更新を支援するサービスです。本サービスによってインターネット非接続の社内PCで定義ファイル更新が可能になります。またサービス・プログラムであるため、サーバーOSのログオフ中であっても定義ファイル更新が行われます。

主な機能は以下の通りです。

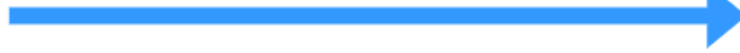
- ・社内サーバーへウイルス定義ファイルのダウンロード
- ・インターネット非接続の社内PCに接続されたワクチンUSBへ定義ファイル配布

通常



定義ファイル
クラウドサーバー

ダウンロード



Local Updater導入



定義ファイル
クラウドサーバー

一時ダウンロード



社内サーバー



Local Updater

社内ネットワーク
配布



本サービスをインストールした社内サーバーとワクチンUSB3(接続PC)がネットワーク接続している必要があります。

3 ソフトウェア仕様

Local Updater サービスのソフトウェア仕様は以下となります。

ファイル名	LocalUpdatersc.exe
サービス名	LocalUpdatersc
動作環境	CPU: Intel Core i3 以上 または同等の性能を持つ CPU 物理メモリ (RAM): 2GB 以上 ハードディスク空き容量: 2GB 以上
対応 OS	Windows Server 2019 Windows Server 2022
必要権限	管理者権限
ソフトウェア形態	サービス・プログラム ※サービス・プログラムであるため、ログオフ状態でも動作します
対象デバイス	ワクチン USB3 型番: ULD-VAU31A/ULD-VAU33A/ULD-VAU35A 型番: HUD-MVDT31A/HUD-MVDT33A/HUD-MVDT35A
定義ファイル更新先	http://update.nai.com/***(ポート: 80/8080) 注意: この URL へアクセスができない場合、定義ファイルの更新はできません。

4 インストールから運用までの概要

■セットアップ

- 1: 社内サーバーへ Local Updater サービスを[インストール](#)。また各種設定を行う。
- 2: ワクチン USB3 の定義[ファイル更新方法を変更](#)

■運用(定義ファイル更新を行う)

- 1: 社内サーバーへ毎日午前 4 時に定義ファイルが自動的にダウンロードする。
- 2: ワクチン USB3 の定義ファイル更新を行う ※定義ファイル更新方法は変わりません。

5 インストール方法

Local Updater サービスのインストール手順概要

- 5-1：本ソフトウェアを指定の場所へコピーする
- 5-2：Local Updater サービスの作成・サービスを開始する
- 5-3：社内サーバー内の定義ファイル ダウンロードフォルダを共有設定する

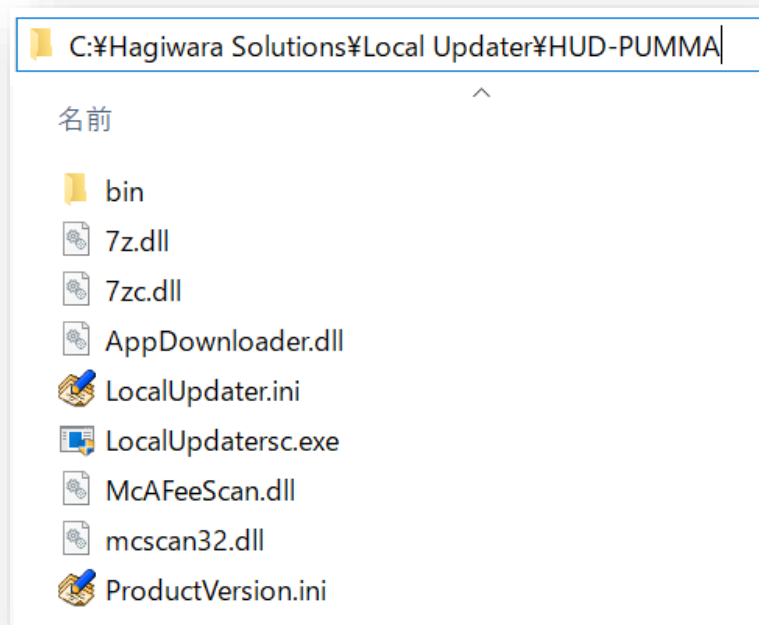
5-1：本ソフトウェアを指定の場所へコピーする

既に LocalUpdater (通常版) がインストールされている場合は事前にアンインストールしてください。

ダウンロードした LocalUpdatersc_v***.zip を解凍し、解凍後に作成される[Copy_File]フォルダ内にある「Hagiwara Solutions」フォルダを社内サーバーの C:¥ドライブ直下にコピーしてください。

コピー後の構成	C:¥Hagiwara Solutions¥Local Updater¥HUD-PUMMA
---------	---

■HUD-PUMMA フォルダ内構成イメージ



5-2：Local Updater サービスの作成・サービスを開始する

■事前準備

5-1 で解凍したフォルダ内に bat フォルダがあります。このフォルダにはサービス制御用のバッチファイルが保存されています。このバッチファイルを使用してサービスのインストールを行います。**バッチファイルは必ず管理者として実行をしてください。**

■サービスのインストール・開始

1：バッチファイル create.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

サービス：localupdatersvc が作成されます。

2：バッチファイル start.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

LocalUpdater サービスが動作し、指定時間(通常午前 0 時)に自動的に定義ファイルがダウンロードされます。

3：バッチファイル query.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

以下の画面で STATE が「RUNNING」であることを確認してください。

C:\Windows\System32\cmd.exe

```
C:\Windows\system32>sc query LocalUpdatersvc
```

```
SERVICE_NAME: LocalUpdatersvc
```

```
        TYPE               : 10  WIN32_OWN_PROCESS
```

```
        STATE                : 4  RUNNING
```

```
                                (STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, IGNORES_SHUTDOWN)
```

```
        WIN32_EXIT_CODE       : 0  (0x0)
```

```
        SERVICE_EXIT_CODE    : 0  (0x0)
```

```
        CHECKPOINT            : 0x0
```

```
        WAIT_HINT             : 0x0
```

```
C:\Windows\system32>pause
```

```
続行するには何かキーを押してください . . .
```

5-3 社内サーバー内の定義ファイル ダウンロードフォルダを共有設定する

ダウンロードした定義ファイルをワクチン USB3 からアクセス可能にするために、共有フォルダ設定を行います。

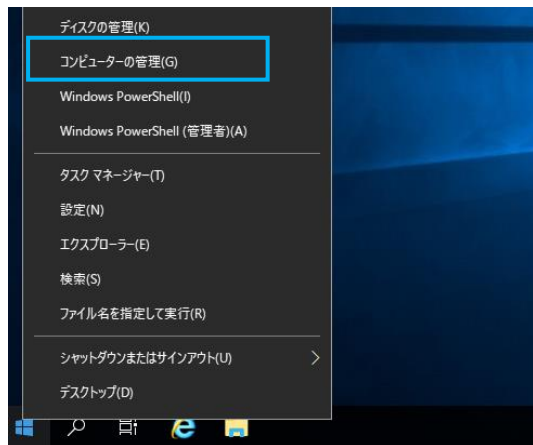
■Windows Server 2022/2019 の共有フォルダ 設定例

ゲストアカウントを有効設定

LocalUpdater がダウンロードした定義ファイルをワクチン USB からアクセスできるようにするため、共有フォルダ設定を変更します。

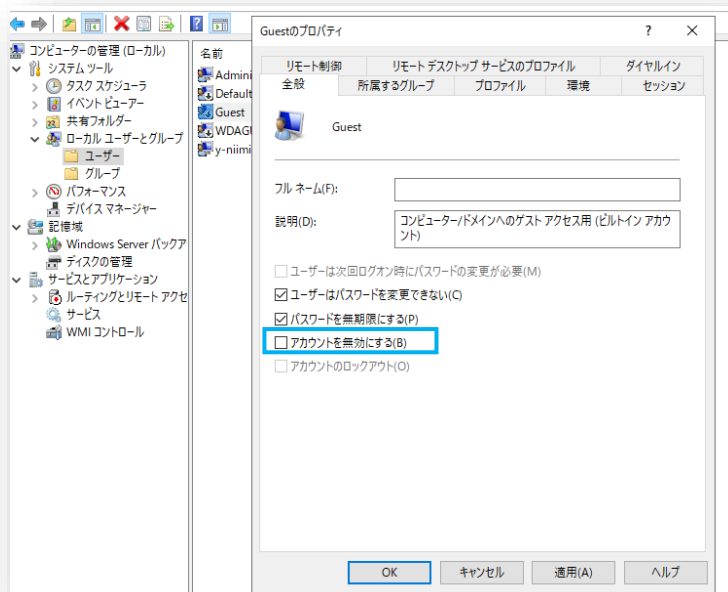
サーバー上の共有フォルダからワクチン USB が定義ファイルへアクセスする際、サーバーへの認証画面が表示されます。ここでは認証画面を出さない方法としてゲストアカウントを有効にします。

1：画面左下の Windows アイコンを右クリックして[コンピュータの管理]を開きます。



2：[ローカルユーザとグループ] → [ユーザ] を選択し、右ペインの[Guest]ユーザをダブルクリックします。

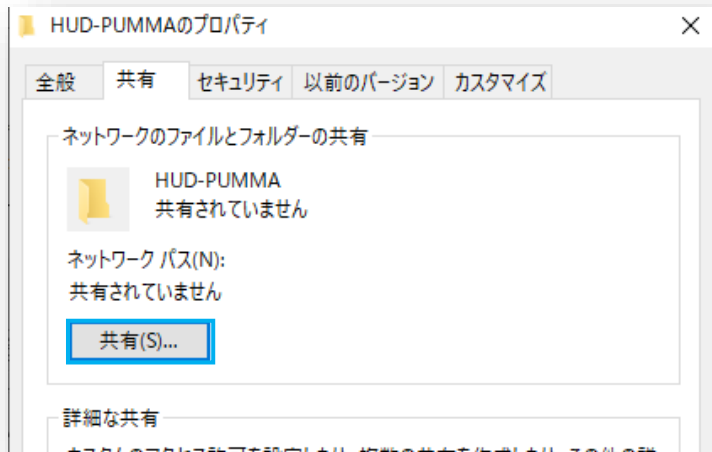
3：[アカウントを無効にする] のチェックマークを”外し”ます。[OK] をクリックして [Guest のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。



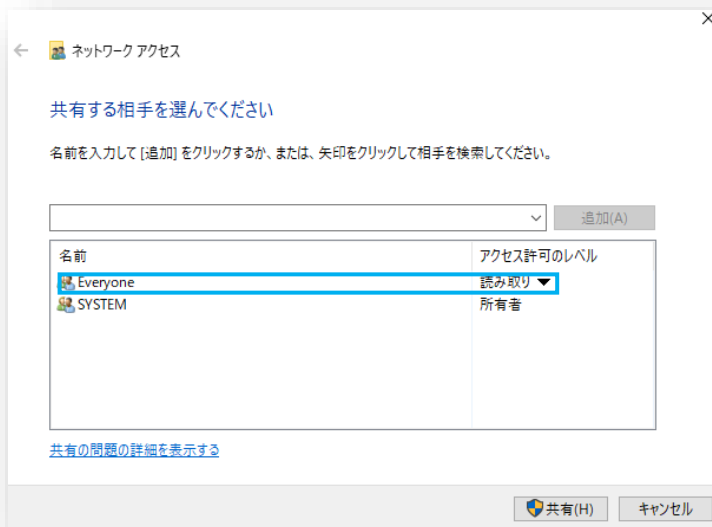
共有フォルダ設定

ワクチン USB3 からアクセスできるように、定義ファイル・フォルダを共有フォルダ設定します。

1：定義ファイル・フォルダ「C:¥Hagiwara Solutions¥Local Updater¥」の下にある「HUD-PUMMA」を右クリック・プロパティ選択後、タブ：共有を選択し、[共有]ボタンを押してください。



2：共有する相手に everyone(アクセス許可のレベル：読み取り)を追加して、[共有]ボタンを押してください。



6 各種設定方法

Local Updater サービスは各種設定することができます。以下の設定が可能です。

- ・定義ファイルダウンロード時間
- ・プロキシサーバーを経由する・しない

■設定変更方法

サービスが動作している場合、設定ファイルを変更する前にサービスを一旦止める必要があります。

以下の手順で変更を行ってください

1：サービスを停止する

- ・バッチファイル：stop.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

2：設定ファイルを編集

設定ファイルを編集してください。通常のテキストファイルエディター(notepad 等)で可能です。

設定ファイル保存場所	C:\¥Hagiwara Solutions¥Local Updater¥HUD-PUMMA
設定ファイル名	LocalUpdater.ini

3：サービスを開始する。

- ・バッチファイル：start.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

■設定ファイル 内容

キー名	内容	初期値	設定例
UpdateTime	定義ファイルダウンロード時間(00:00~23:59)です。 注 ：ワクチン USB が定義ファイル更新しない時間に設定してください。	04:00 ※午前 4 時	21:30
ProxyUser	プロキシサーバー ユーザー名です。 プロキシサーバーを経由する場合に指定してください。	空	HAGIWARA
ProxyPass	プロキシサーバー パスワードです。 プロキシサーバーを経由する場合に指定してください。	空	123456789
IsEnableProxyPass	定義ファイル更新時にプロキシサーバーを経由するか 設定します。 ・プロキシサーバーを経由しない：0 ・プロキシサーバーを経由する：1	0	1

■設定ファイル内容イメージ

[LocalUpdater]

UpdateTime=21:30

ProxyUser=HAGIWARA

ProxyPass=123456789

IsEnableProxyPass=1

7 アンインストール方法

■事前準備

Localupdatersc.zip を解凍したフォルダ内に bat フォルダがあります。このフォルダにはサービス制御用のバッチファイルが保存されています。このバッチファイルを使用してサービスのインストールを行います。**バッチファイルは必ず管理者として実行をしてください。**

■サービスの停止

1：バッチファイル stop.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

LocalUpdater サービスが停止されます。

2：バッチファイル delete.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

LocalUpdater サービスが削除されます。

3：LocalUpdater サービスをインストールした以下フォルダ内のファイルを削除してください。

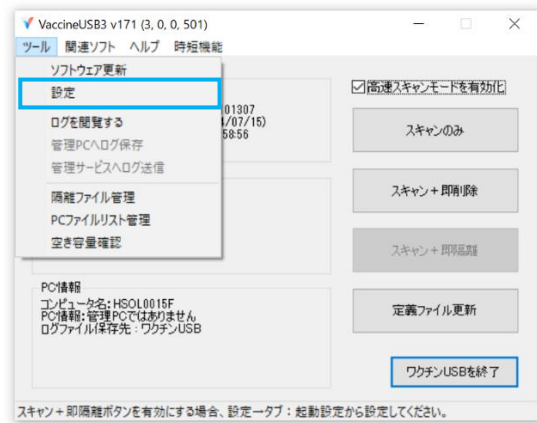
インストールフォルダ	C:¥Hagiwara Solutions¥Local Updater¥
------------	--------------------------------------

8 ワクチン USB3 設定方法

Local Updater サービスが社内サーバーへダウンロードした定義ファイルから更新できるようにワクチン USB3 の設定変更を行います。

■設定方法

1：ワクチン USB3 を起動し、起動後に[メイン]画面へ移動します。その後メイン画面で左上の[ツール]→[設定]を選択します。



2：次に設定画面でタブ：[定義ファイル]を選択し、定義ファイル更新方法欄で[インターネットと Local Updater で定義ファイルを更新します]を選択し、Local Updater サービスインストール時に設定した共有フォルダパスの値を入力し、設定保存してください。通常「¥¥サーバーの IP アドレス¥HUD-PUMMA」になります。

例：¥¥192.168.79.128¥HUD-PUMMA



以上で設定は完了です。

本設定後、ワクチン USB3 は通常通り定義ファイル更新を実施してください。



9 定義ファイルのダウンロードに失敗する場合

■定義ファイルダウンロード先の許可

以下の URL から定義ファイルをダウンロードするので制限が掛かっている場合、許可をしてください。

ダウンロード先	http://update.nai.com/**
ポート	80/8080

■定義ファイル更新に失敗するようになった

何かしらの原因で定義ファイル更新が失敗するようになった場合、以下を実施してください。

1：サービスを停止する。

バッチファイル：stop.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

2：「C:\Hagiwara Solutions\Local Updater\HUD-PUMMA」内の以下ファイルを削除してください

- dat フォルダ内のファイル全て
- ScannerVersion.ini

3：サービスを開始する

バッチファイル start.bat ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。

10 Q&A

質問	回答
本サービスでワクチン USB3 のソフトウェア・アップデートはできますか。	できません。 ワクチン USB3 をインターネットに接続してソフトウェアアップデートを行ってください。
本サービスでワクチン USB3 のライセンス更新はできますか。	できません。 ワクチン USB3 をインターネットに接続してライセンス更新を行ってください。
Trellix サーバーの定義ファイルはいつ更新されますか	通常 毎日・午前 3 時頃に更新されます。 ※保証するものではありません。

- ◆掲載されている商品の仕様・外観、およびサービス内容等については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ◆その他掲載されている会社名・商品名等は、一般に各社の商標又は登録商標です。なお、本文中には®および ™ マークは明記していません。
- ◆本ドキュメント内容は、2024 年 10 月時点のものです。今後、当該内容は予告なく変更される場合があります。

Local Updater サービス版
マニュアル
2024 年 10 月

©2024 HAGIWARA Solutions Co.,Ltd. All Rights Reserved